

月刊原宿新聞

発行所
月刊原宿新聞社
本社/東京都渋谷区神宮前3-21-16
NK-1ビル3階
TEL03-3796-6865
FAX03-3796-6815
E-mail info@tltny.co.jp

区の景観条例制定へ

23日、シンポ 協働型まちづくりを目指す

都市計画マスタープランの一環として協働型のまちづくりをめざした(仮称)渋谷区まちづくり景観条例のシンポジウムが二十三日午後一時から、神南小学校体育館で開かれる。

当日は「まちづくり条例の最近の動向」と題し、田丸重彦(東海大学大学院講師)が基調講演。この後、まちづくり景観条例の骨子が行政側から説明された後、最後にまちづくりの専門家によるパネルディスカッションが行われる予定だ。

パネラーは、井口典夫(青山学院大学経営学部教授、磯崎

夏にはホテル1万匹

ふれあい植物センターオープン

渋谷区ふれあい植物センターが十日がオープンした。セレモニーには桑原市長など関係者約二百人が出席。このふれあいセンターが渋谷区にあるのは全国初の地元還元施設として、東



せせらぎが流れ、四季折々の花・草・木を鑑賞しながら、緑と親しむ癒しの空間(センターリーフレットより)

二丁目に建設され、清掃場からの電気供給を受けて運営されている。

一階のグリーンガーデンは、せせらぎが流れ、四季折々の花・草・木を鑑賞する空間。二階は園芸実習室、企画展示ホール、情報学習コーナー、映像ライブラリーの各施設。三階は五人程度が収容できる多目的ホールになっている。目玉はほたるの郷ほたるを育て、夏には約一万匹のホテルが孵化、園内を飛びまわり来場者を楽しませる。

十七日まではオープン記念として無料公開され、それ以降の入園料は一回四百円。就学児・区内在住の小中学生・六十歳以上の人は無料となる。

また、通常は展示しない木や花を展示する企画展を、年三回行う予定。

区民が日常の中で植物とふれあい、身近な緑化に参加できる、貴重な空間が誕生した。

初田中央大学法学部教授、窪田重夫(工学院大学建築都市デザイン学助教授、松本昭国分寺市都市計画課長)が、同条例の骨子は都市計画マスタープランに掲げられたまちづくりの目標と協働型のまちづくりが基本理念と、渋谷区は昨年同条例の「基本的な考え方」を策定し、これまでに区内六か所で「区民意見交換会」を開催、区民の意見を吸い上げてきた。今回

のシンポジウムは、専門家と交え意見交換するもので、今年十月ごろにはまちづくり景観条例の制定、景観審議会を設置したい意向だ。

渋谷区には多数のまちづくり協議会が存在するが、地域のまちづくりに尽力しているが、現状は任意団体。このため同条例を制定し、渋谷区が正式に認定し、まちづくりを強力にサポートしていく考えだ。



設置されている災害用トイレ

都心ではじめて

全避難所に災害用トイレ

渋谷区では災害に強いまちづくりを目指し、平成十六年度から、災害時の避難所生活の環境向上のため、災害用トイレの設置を行っている。

渋谷区の災害時の避難所は、区立小学校、区立中学校、区立高等学校、区立体育館、区立公民館、区立図書館、区立生涯学習センター等、全区域の全部で二十二か所。現在、校庭整備、下水道耐震補強工事を行った区

立小学校から順に整備を行い、三月末時点で十五校に設置完了。今年度は他に六か所、十八年度には残りの全所に設置することを目標としている。二十三区内で、全所の避難所に災害用トイレを設置するのは渋谷区が初めて。

災害用トイレは、校庭の下に傾斜させたFRP製繊維強化プラスチックの管を二か所に連結したマンホール五

「基礎を埋め込み、災害時には校庭の人工芝を取り外してマンホール蓋を開け、和式便所として使用する。また、障害のある人や車イスを利用する人などのために、マンホールの上に洋式便座を取り付けた専用トイレも設ける。便所の周囲にはアートを張り、プライバシーを保護。排せ物は、一定時間ごとに学校のプール等の水を利用してFRP製の管から下水道

本管に直接流入するので一人ひとりが使用するたびに排水する必要はない。多くの人がスムーズにトイレを使用できるように工夫している。

一月には関係者のみの設置訓練を行ったが、今年十七日の神宮前地区を皮切りに、地域住民に向けての設置訓練が、今年度十一か所で行われる予定。

音楽でスリランカ復興支援

歌手の沢田さんら参加

神宮前でフェスティバル



がんばれスリランカチャリティイベントが先月二十七日、神宮前小学校体育館で開催された。

同フェスティバルは、昨年未インドネシアのスマトラ島沖で地震が発生、津波がインド洋沿岸諸国を襲い、死者の数は約二万人を超え、近代史上最大の自然災害となった。同地区では先月も大地震が襲い、大きな被害がでた。このためスリランカに思い入れや縁のある音楽家に支援を呼びかけたところ、「自らの音楽を通じてスリランカ復興再建の支援ができれば」と多くの賛同を得、開催されることとなった。

当日は、約二百人が参加。歌手の沢田知子さん、スターンターフォンセカ(シスター with Drops)、トランプペットの加藤みゆるさん、フルートの長谷川誠さんが演奏した後、最後は「gift」を全員で合唱した。

集まった義援金は、スリランカ大使館「国際協力NGO」財団法人ケア・ジャパンなどに寄付された。

なお、同フェスティバルにあわせ、正活の木、原宿表参道店、隣では「生きるカース」リランカ津波被災の現場からと題する写真展が開催されている。二十五日まで。

魚 せん

青山店 店長 臼井 孝文

本店 Tel:03-3404-6003 03-3404-7024
青山店 Tel:03-5785-4464

気の合う仲間と...
新鮮な魚とうまい酒

昌

神宮前

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前6-7-16 エムエスビルB1F
Tel&Fax:03-3407-1534

不動産 売買・賃貸・管理

www.toshi-co.info

TOSHI CORPORATION

有限会社 トシ コーポレーション

代表取締役 乗松 敏和

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-19-17 石田ビル2階
Tel:03-5468-6820 Fax:03-5468-6816

